

EUREKA 〈研究紹介〉	ガンマ線バースト観測衛星HETE-2の打ち上げ	河合誠之	287
特集			
宇宙年齢について	Ia型超新星による宇宙論パラメータ決定と宇宙年齢	戸谷友則	302
追悼	小田 稔氏	ジョージ・クラーク	308
		田中靖郎	
		高倉達雄	
		古在由秀	
		内田 豊	
		森本雅樹	
雑報	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書	本間希樹	321
シリーズ	《海外研究室事情(19)》 Department of Astronomy, Seoul National University ソウル国立大学校・自然科学大学・天文学教室	上野宗孝	322
月報だより			324

[表紙説明]

ガンマ線バーストは、はるかな遠方で起きる宇宙最大の爆発現象である。その観測のために、高エネルギー・トランジェント天体探査衛星2号機（HETE-2）は日米仏の国際協力によって製作され、2000年10月9日に赤道上空の高度約600 kmの軌道に打上げられた。HETE-2衛星はガンマ線バーストの精度の高い位置を機上で決定して地上に伝えることができる。この位置情報はインターネットを通じて世界中に配信され、バーストの発生直後からの追跡観測を可能にする。表紙の写真は、質量特性試験でのHETE-2衛星、ロケットへの衛星組付け作業、および、ロケットを胴体下部に搭載してクウェジェリン打上げ基地に到着した飛行機である。
(EUREKA 参照)